

創立記念講話 （全校朝会にて）

あす11月5日は創立記念日です。今年は、江戸川学園取手中・高等学校が、創立40周年を迎える特別の年です。日曜日ですが、記念行事に参加する代表児童（合唱クラブとヒップホップダンス5年生）は登校日です。登校しない子は家庭学習日です。

江戸川学園という名前の由来は、学校の始まりが江戸川（利根川より分流）という川の近くにあった城東高等家政女学校（後に江戸川高等家政女学校などと改称、現江戸川女子中・高等学校／東京都江戸川区東小岩）だったからです。1932年（昭和6年）11月に校舎を設置したので、11月5日を学園の創立記念日としました。したがって、創立記念日は、本校だけでなく取手中・高等学校や大学、専門学校なども同じ日です。

一貫教育校の取手高等学校は、1978年（昭和53年）4月1日開校となり、4月6日に高等学校1期生998人を迎えて、第1回入学式をしたのだそうです。

そして、9年後の1987年（昭和62年）に、中学校が開校しました。これで、中高6ヵ年一貫教育校となったのです。このあたりから進学実績がぐんと伸びたのだそうです。

それから27年後、小学校ができたのです。茨城県初の「小中高12ヵ年一貫教育校」となったのです。

江戸川学園取手小学校は、2014年（平成26年）4月に開校しましたので、4年目を迎えています。来年1年生が入ってくると、6年生まで揃って、小学校が完成することになります。

さて、高等学校の校舎を造る前は、今の中・高等学校がある場所は、ただの原っぱでした。校歌の1番の通り、利根川がゆっくり流れ、遠くに富士山が見えました。この場所で「世界を築く礎」となる人を育てるのだと決意したのだそうです。

その時から40年の年月が過ぎました。創立以来「心豊かなリーダーの育成」を目指して、日本の中、世界の中で、いや地球の中でリーダーとして活躍できる人を育ててきました。リーダーというのは、先頭に立ってみんなを引っ張るだけではありません。ときには他のリーダーやみんなの後押しをする人のことをいいます。そして、「リーダー・イン・ミー」のことばの通り、リーダーは自分の中にいて、そのリーダーに声をかけ、進んで行動する人のことです。つまり、一人ひとりがみんなリーダーであるということです。

校歌3番の歌詞には「まむかう風に歩みゆけ」とあります。後押ししてくれる風ばかりではありません。正面から吹いてくる風には、強い気持ちで立ち向かわなければなりません。

夢やあこがれを実現するために、毎日の生活や学校行事に一生懸命取り組み、努力を重ねることです。あすの家庭学習もその一つといえます。それが「おのれの道を究めつつ」という言葉に重なります。

あすは校歌の意味を考えながら、「心豊かなリーダー」として活躍する将来の姿を思い描き、今自分のすべきことを心に決めて、実行してみましよう。

平成29年11月4日（土）

江戸川学園取手小学校長 若林 富男